



NSCの本社工場

NSCの本社工場

NSCの本社工場

NSCの本社工場

NSCの本社工場

NSCの本社工場

NSC（大阪府豊中市、川久慶人社長、06・6862・5025）は、黒鉛の高純度加工事業に本格的に乗り出す。10億～20億円の生産能力を持つプラントを建設し、2021年秋をめどに稼働する。同社は液晶ディスプレー・ガラスに対するケミカル研磨技術を持つ。同磨で使用する薬液を応用して天然黒鉛を高純度に加工し、黒鉛材料を使うメーカーに売り込む。年販10億円超を目指す。

黒鉛の高純度加工では、シリカを除去するために酸処理加工を施す。その酸処理に、ケミカル研磨で使ったフッ化水素酸を再利用できることから、黒鉛の高純度加工の新規事業化を進めてきた。ケミカル研磨とは化学反応によりガラス基板を薄くする工法。

黒鉛は埋蔵量の多い中国が主要産地。現地で天然黒鉛を酸処理して高純度化し輸出される。ただ最近では環境規制の影響で一部の酸処理工場が操業停止になるなど、安定供給に問題が出ている。

NSC、新プラント 本社工場 黒鉛の高純度加工 年3000トン

</div